

平成 24 年度「基礎・基本」定着状況調査 生活（昭和西小学校）

領 域	課 題	今 後 の 取 組 内 容
学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業の予習・復習が十分にはできていない。 計画的に学習を進めることができにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習ノートの使い方の指導をする。 予習・復習の学習をさせる。 児童に予習・復習等の家庭学習を意欲的に取り組ませるために、発達段階に応じた家庭学習の方法について指導し、計画的に学習に取り組むことができる課題（宿題）提示にも工夫を行う。
思考力	<ul style="list-style-type: none"> ものごとを解決したり決めたりするときに、理由をつけたり複数の方法を考えることができにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら判断し行動し、自分の行動に責任をもつことができるように、いろいろな場面において自己決定の場を与えるようにする。
表現力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を具体的な例をあげ、順序に気をつけながら話すことができにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 話型を示しながら、説明のスキルトレーニングをしていく。 昭和北中学校区「ステップアップ表」を活用し、言語技術の向上を図る。 たてわり活動で、自分の考えを述べる時間をつくる。
社会的事象への関心や体験等	<ul style="list-style-type: none"> 社会の出来事や事件などに関心が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会の時間を活用し、スピーチタイムの中で社会の出来事について話す時間を設ける。
読書活動	<ul style="list-style-type: none"> 家で本や資料の活用ができにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校でも、図書を使った調べ学習の時間を積極的に増やし、活用していく。 児童個々に年間目標冊数を決めさせる。 (低150冊, 中100冊, 高70冊) 全校50000冊
自己実現力・自己効力感	<ul style="list-style-type: none"> 自分のよさが周りから認められていると感じることができにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級が、共感的関係を育み、安心・安全な心の居場所となり、自己存在感を感じることができるような絆づくりの場となる学級経営に取り組む。 異学年との交流の中で肯定的評価を与えることで、自尊感情の高揚を図る。